

植物の分布調査 協力者募集中!

みなさんが毎日散歩したり、通勤・通学したりしている身近ないつもの自然の風景。いつまでも変わらないと思いませんか。意識して観察してみると、いつのまにか変わってしまっている何かに気づくでしょう。野原がなくなってアスファルトの駐車場に変わっています。土の中に住んでいた私たちの目に見えないたくさんの生物たちはどこにいくのでしょうか。季節ごとに生え変わる雑草がなくなって、公園や庭やプランターの鑑賞植物が一年中きれいな(?)花を咲かせています。次に生えてくる植物はもともといた日本の野草でしょうか。帰化植物と呼ばれる外来植物でしょうか。

さまざまな環境異変のことが話題になっていますが、わたしたちは、わたしたちの身の周りの身近な自然をきちんと見つめ、大切にしているのでしょうか。

みなさんの身近な地域を調べる今回の調査から、周囲に目を向けてみることを始めてみませんか？

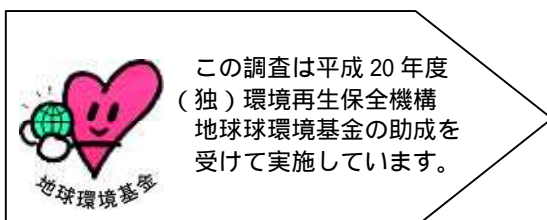

<今回(早春)の調査の対象植物>

外来植物 もともと日本国内またはその地域にいなかったのに 外から来て定着してしまった植物			在来植物 昔から日本国内またはその地域に 生え続けている植物	
セイヨウアブラナ	セイヨウカラシナ	オオキバナカタバミ	シロバナタンポポ	スミレ
				
<p>俗に「ナノハナ」と呼ばれて、春の風物詩とされているが、もともとは主に菜種畑の栽培植物であり、自然に生えることはない。河川敷などに多く群落をつくり生態系に影響を及ぼす。むやみに種をまかないでほしい。</p>			<p>「オキザリス」として販売される。葉にある斑点が特徴。土の移動でも増えるため、野生化し始めている。</p>	
<p>黄色のタンポポはほとんど帰化植物と入れ替わっているが、白色は西日本に生育する在来種で、大切に残したい。</p>			<p>道端に普通に生育している在来種。街中のアスファルトの隙間でもがんばって生存している。抜かないでほしい。</p>	

- 植物についてと調査の方法についての詳しい内容と地図を送ります。
- 分布調査できる地域(周南市内)について、下記までご連絡ください。

分布情報登録サイトからも入力できます(周南市以外の方)

<http://www.wfen.jp/plant/>

NPO 法人 水環境地域ネットワーク
(通称名 WFEN ウーフェン)
周南市遠石2丁目6-22-302
電話/FAX 0834-21-5822
E-Mail info@wfen.jp